

药

昭和七年

時局正教養會編纂

發行所

国立保健医療科学院蔵書



10012043

P-B
P 冊7
3

D-B

16044

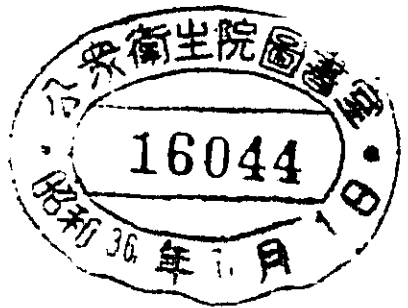
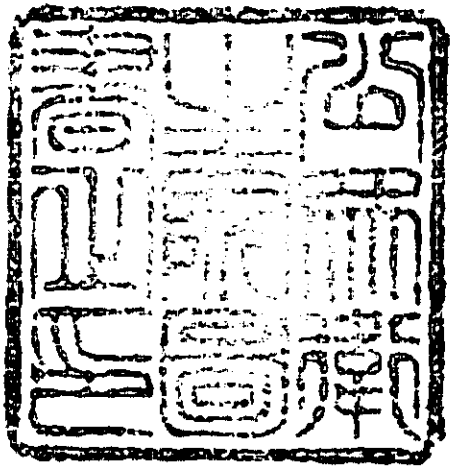
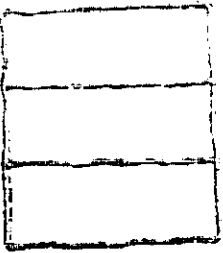
P.337

3



昭和36年7月1日
 塚原政繁氏
 寄贈
 公衆衛生院

D-B
P 337
3



時局匡救醫療救護實施概況

目次

第一	緒言	一
第二	御沙汰書	一
第三	一木宮内大臣ノ通牒	二
第四	山本内務大臣ノ訓令	三
第五	同大臣ノ謹話	三
第六	潮内務次官ノ通牒	四
	一、醫療救護御下賜金ニ關スル件	五
	二、醫療救護ニ關スル件 (二通)	五
第七	大島衛生局長ノ通牒	七
	一、醫療救護ニ關スル件	八
	二、醫療救護月報ノ件	九
第八	廳府縣ニ於ケル醫療救護費	一〇
	一、御下賜金並ニ國費配當額	一〇
	二、廳府縣支出額	一一

第九 廳府縣ニ於ケル事業開始マデノ準備……………一二

第十 醫療救護ノ種類……………一三

一、委託診療……………一三

二、出張診療……………一三

三、巡回診療……………一三

第十一 内務省ノ指導監督……………一四

一、學務部長會議ニ於ケル大臣指示……………一四

二、衛生局員ノ出張監督……………一四

三、主管課長會議……………一四

四、大島衛生局長ノ通牒……………一五

五、廳府縣ニ於ケル要救療者ノ範圍及醫療報酬一覽……………一七

六、地方長官會議ニ於ケル大臣訓示……………三〇

七、警察部長並學務部長會議ニ於ケル大臣指示……………三〇

第十二 廳府縣ニ於ケル醫療救護實施ノ概況……………三〇

附 醫療救護ニ關スル美談並ニ挿話……………七一

北海道……………七一 大阪……………七四 兵庫……………七七 長崎……………七九

埼玉……………八〇 熊本……………八二 奈良……………八四 福井……………八五

福島……………八七 青森……………八八 山形……………九二 富山……………九三

岡山……………九五 廣島……………九七 山口……………九八 和歌山……………九九

島根……………一〇〇 徳島……………一〇三 香川……………一〇四 愛媛……………一〇六

福岡……………一〇六 鹿兒島……………一〇七

第十三 醫療救護ニ關スル諸表

第一表 醫療救護取扱患者數及治療日數

第二表 醫療救護取扱患者年齡別

第三表 醫療救護取扱患者病類別

時局匡救醫療救護實施概況

第一 緒 言

世界的經濟不況ノ影響ヲ受ケテ我邦ニ於テモ數年來都鄙ヲ通ジテ不況ノ聲高ク各種産業ノ萎微衰退ヲ來シ殊ニ農漁山村ニ於テ疲弊ノ狀最モ甚シキモノアリ。是ガ爲生計窮迫ニ呻吟スルモノ日ヲ追フテ増加シ其ノ結果生活ハ不健康ニ傾キテ疾病ニ罹ル者多ク既ニ疾病ヲ發スルモ醫療ヲ受クルノ途ナク罹病ト困窮ト相因果シテ益々疲弊困憊ニ陥ラシムルノ狀況ナリ。又平素醫療機關ノ存在セザルガ如キ山間僻地ニアリテハ愈々醫療ノ便宜ヲ失ヒ其ノ慘狀見ルニ堪ヘザルモノアリ。是ニ對シ多少ノ既設醫療救護施設アリト雖是ヲ要救療者ノ實況ニ對照スルニ其ノ救護效果率ネ菲薄ニシテシカモ其ノ施設ハ概シテ都會地方ニ偏在セリ。斯ル狀況ニアリシヲ以テ農漁山村ヲ主トスル醫療救護施設ハ焦眉ノ急務ニシテ政府ハ昭和七年夏ノ第六十三回臨時帝國議會ニ是ニ要スル費用ヲ要求シツ、アリシガ 畏クモ皇室ニ於セラレテハ現下ノ不況ニツキ夙ニ御軫念アラセラレ時局匡救ノ爲ニ昭和七年八月二十日別項ノ如キ御沙汰ト共ニ巨額ノ御內帑金ヲ御下賜アラセラレタリ。聖旨ニ感激セル政府ハ時局匡救醫療救護ニ遺算ナカランコトヲ期シ昭和七年度ニ於テハ六拾萬圓ノ豫算ヲ得、同年度御下賜金六拾萬圓ト併セテ之ヲ道府縣ニ配當シ各地方ヲシテ適切ナル施設ヲ爲サシメタリ。本報告ニ於テハ昭和七年度ニ於ケル實施概況ヲ記録セントス。

第一 御沙汰書

內務大臣ノ拜受セル御沙汰書左ノ如シ

今般救療ノ資トシテ思召ヲ以テ
金參百萬圓下賜候旨

御沙汰アラセラレ候

昭和七年八月二十日

宮内大臣 一木喜徳郎

御下賜金年度割

昭和七年度 金 六拾萬圓

昭和八年度 金壹百貳拾萬圓

昭和九年度 金壹百貳拾萬圓

第三 一木宮内大臣ノ通牒

御沙汰書ト共ニ八月二十日發セラレタル一木宮内大臣ヨリノ通牒左ノ如シ

昭和七年八月二十日

宮内大臣 一木喜徳郎

内務大臣 男爵 山本達雄殿

通牒

今般救療費トシテ金參百萬圓貴大臣ニ下賜相成候ニ付テハ、財團濟生會其ノ他醫療竝ニ救濟ニ從フ諸團體ヲモ督勵シ關係各機關協力一致以テ、聖旨ニ副ヒ奉ルヘキ適切ナル方法ヲ講ゼラル、様致サレ度尙御下賜金ハ左ノ年度割ヲ以テ貴省ニ交付可相成候

昭和七年度 金 六拾萬圓
昭和八年度 金壹百貳拾萬圓
昭和九年度 金壹百貳拾萬圓

第四 山本内務大臣ノ訓令

山本内務大臣ハ御内帑金ノ下賜ニ痛ク感激シ即日應府縣長官ニ對シ左ノ訓令ヲ發シタリ

内務省訓第二〇四一號

北海道廳長官
各府縣知事

今般救療ノ資トシテ思召ヲ以テ、御内帑金ヲ下賜セラル、聖恩優渥洵ニ感激ノ至ニ禁ヘス宜シク、御趣旨ノ存スル所ヲ奉體シ慎重計畫ヲ樹テ熱誠事ニ當リ速ニ救療ノ實ヲ舉クルニ勉メ以テ、聖旨ノ對揚ニ遺憾ナキヲ期スヘシ

右訓令ス

昭和七年八月二十日

内務大臣 男爵 山本達雄

第五 山本内務大臣ノ講話

山本内務大臣ハ同日御下賜金ニヨル醫療救護ニ關シ左ノ如ク講話シ新聞雜誌等ヲ通ジ一般國民ニ有リ難キ聖旨ヲ傳達セラレタリ。

現下ノ不況ニ基ク地方疲弊ノ匡救ニ就キマシテハ、政府ニ於テモ銳意之ガ對策ヲ講ジツ、アリマスガ醫藥給セザル病者ノ救護

ハ亦最モ差置キ難キ急務ナリト認メ、之ニ要スル經費ヲ臨時議會ニ要求スルコト、ナツテ居リマス。斯様ノ折柄、醫療救護充實ノ御恩召ヲ以テ 皇室ヨリ特ニ巨額ノ御下賜金ヲ拜受スルコトニ相成リマシタコトハ、洵ニ長レ多イ極ミデ、萬民ヲ愛撫セサセ給フ優渥ナル 聖恩ニ對シマシテハ、全國民ノ深キ感激ヲ以テ、齊シク御惠澤ヲ仰グコト、信ズルノデアリマス。上下一致官民協力ノ下ニ、斯クテ救濟ノ實モ舉ガリ國民ノ氣力モ鼓舞セラレテ、自力更生ノ基礎モ茲ニ益々鞏固ニナリ行クヲ疑ハヌノデアリマス。

恩賜金ハ臨時議會ニ協賛ヲ求メテ居リマスル救療費ト併セテ、各地方ニ分配シ、地方ノ實狀ニ應ジテ夫レ夫レ適當ノ施設ヲ爲サシメ、殊ニ財團濟生會ノ如キ特殊ノ機關ニ對シテハ此ノ際十分ナル活動ヲ促ス等最モ有効適切ニ救療ノ實績ヲ舉ゲ以テ 聖恩ノ萬一ニ報ジタイト存シテ居リマス。

第六 潮内務次官ノ通牒

越エテ八月二十二日潮内務次官ハ廳府縣長官ニ對シ醫療救護御下賜金ニ關スル件並ニ醫療救護ニ關スル件ヲ夫々依命通牒シ御下賜金及國庫交附金ノ廳府縣ヘノ配當額ヲ豫告シタリ。此ノ配當額ノ算出ノ基礎トシテ一般人口ノ外農漁山村ノ人口、醫療機關無キ町村、特別疲弊地方凶作地方等ヲ數ヘタリ。

又醫療救護實施計畫ヲ樹テ九月五日迄ニ內務省ニ報告セシムルコトトシ猶救療ノ實施ニ當リテハ財團濟生會其ノ他ノ醫療並ニ救療團體ヲ活動セシムルコトヲ從進セリ。

今回ノ醫療救護ハ都市ニ於ケル救療モ敢テ等閑ニ附スルニハアラザレドモ主トシテ農漁山村ニ於ケル救療ヲ行フコトトシ實際ニ救療ヲ行フ方法ハ先ヅ第一ニ既存ノ開業醫ニ醫療ヲ委託スルノ外其他ノ既設醫療機關ヲ利用シ、之ヲ利用シ得ザル場合ニハ出張診療又ハ巡回診療等ニ依ルコトトシタリ。

救療ニハ遺漏ナカラシメンコトヲ努ムルト同時ニ濫救ノ弊ヲ防ガンガタメ要救療者ヲ調査シテ救療名簿ヲ作製スル等十分ノ準備ヲ爲サシメ、要救療者ニ對シテハ無料診療ヲ行フ方針ヲ確立シタリ。



內務省發衛第九〇號

昭和七年八月二十二日

內務次官

北海道長官
府縣知事殿

醫療救護御下賜金ニ關スル件依命通牒

今般長クモ醫療救護費御下賜ノ御沙汰ヲ拜シ候ニ就テハ貴縣ニ對シ本年度分トシテ約金 圓配當可相成候ニ付最モ適當ト認ムル方法ニ依リテ計畫ヲ樹テラレ之ガ實施ニ當リテハ御趣旨ノ普及徹底ヲ期セラレ、様特ニ御配慮相成度 追テ右實施計畫ニ付テハ別途醫療救護ニ關スル依命通牒ノ趣旨ニ基キ其ノ救護費ト併セ御考慮ノ上御申越相成度尙右御下賜金ハ可成迅速ニ配當可相成ニ付配當次第直ニ事業ニ著手セラレ可然候條御了知相成度

內務省發衛第九一號

昭和七年八月二十二日

內務次官

北海道長官
府縣知事殿

醫療救護ニ關スル件依命通牒

農漁山村其ノ他ノ地方ノ疲弊セル狀況ニ鑑ミ來ル臨時議會ニ醫療救護費トシテ六月分ノ豫算金六拾萬圓ヲ提出スルコトト相成候處之ガ確定ノ上ハ貴縣ニ對シ約金 圓配當可相成ニ付御下賜金ト併セ實施計畫ヲ樹テラレ九月五日迄ニ御申越相成度尤モ實施ニ付テハ可成財團濟生會ハ固ヨリ其ノ他ノ醫療救濟團體ヲ活動セシメラルコト時宜ニ適スト認メラレ候條御含ミノ上御配慮相成度、尙財團濟生會ヲシテ之ニ當ラシメラル分ノ事業ハ當方ニ於テ財團濟生會ニ委託シ之ニ要

スル費用ハ^{財團}財團濟生會ヲ通ジテ配當可致其ノ他ノ分ノ費用ハ直接貴官ニ配當可致見込ニ有之候條右御了知ノ上御計畫ノ内報ニ際シテハ具體的内譯ヲ附シ御申越相成度

追テ右實施計畫樹立ニ際シテハ左記趣旨ニ依リ御取計相成度

記

- 一、今回ノ施設ハ農漁山村ノ救療ヲ主トスルコト
- 二、救療ノ方法ハ成ル可ク既設醫療機關ヲ利用シ若シ之ガ機關ヲ利用シ能ハザル場合ハ出張診療又ハ巡回診療等ニ依ルコト
- 三、本救療ハ總テ無料タルコト
- 四、事務費ニ付テハ^{財團}財團濟生會事業ニ關スル内務次官通牒ニ依ルコト
- 五、救療事務ノ主管ガ衛生課タルト社會課タルトヲ問ハズ本事業ノ實施ニ關シテハ相互ニ緊密ナル連絡協調ヲ得シメラルルコト

昭和七年九月二十七日潮内務次官ハ地方長官ニ對シ醫療救護ニ關スル件依命通牒ヲ發シテ御下賜金及國費ヲ配付シ且ツ實績ヲ擧グルニ努ムベキ旨指示セリ、各地方長官ハ、八月二十二日付内務次官依命通牒ノ趣旨ニ基キ各地ノ實情ニ應ジテ最モ適切ナル實施計畫ヲ樹テタルモ念ノ爲其計畫ヲ一應本省ニ稟議セシメ衛生局ニ於テハ之ヲ十分ニ監督シ實施上違算ナキヲ期シタリ

内務省發衛第一〇〇號

昭和七年九月二十七日

内務次官

北海道長官殿

府縣知事殿
醫療救護ニ關スル件依命通牒

月 日附 第 號ヲ以テ標記ノ計畫御申越相成候處右御計畫ノ通御遂行相成度之ガ豫算左記ノ通別途配付可相成候條御了知相成度尙實施ニ當リテハ特ニ吏僚其ノ他關係方面ヲ御督勵ノ上萬遺憾ナキヲ期シ實績ヲ擧ゲラルル様努メラレ度

追テ^{財團}財團濟生會ヲ通ジテ配付スベキ金額御參考迄ニ附記致置候尙本件施設ノ狀況ニ付テハ別途通牒ニ依リ御報告煩スベク候ニ付御含ミ置相成度爲念申添候

記

一金	圓	御下賜金
一金	圓	費
計金	圓	
財團	濟生會ヲ通ジテ配付スベキ額	
一金	圓	御下賜金
一金	圓	費
計金	圓	

第七 大島衛生局長ノ通牒

昭和七年九月二十九日大島衛生局長ハ地方長官ニ對シ^{財團}財團濟生會ヲ通ジテ行フベキ醫療救護ノ豫算配付方ニ付キ左ノ通牒ヲ發シタリ。

各地方長官ハ道府縣ノ實情ニ鑑ミ道府縣ニ於テ直接行フベキ事業ト^{財團}財團濟生會ヲ通ジテ行フベキ事業トニ區分シ報告セルニヨリ此報告ニ基キ豫算ヲ區分配當シタルガ前記直接行フベキ事業ニ對スル豫算ハ直接内務省ヨリ之ヲ送金シ^{財團}財團濟生會ヲ通ジテ

行フ分ニ對シテハ之ヲ取纏メ同會ニ下渡シ同會ヨリ道府縣ニ送金セシメタリ
 内務省及道府縣ハ大正三年二月勅令第十八號ノ規定ニ基キ從來東京市ヲ除キ全國ニ於ケル^{財團}濟生會ノ救療事業ノ委嘱ヲ受ケ
 居ルヲ以テ今回同會ヲ通ジテ行フ分モ亦一旦内務省ニ於テ委嘱ヲ受ケ次デ各道府縣ニ分擔委嘱シタルモノナルヲ以テ豫算ノ配
 當令達ハ内務省ヨリ之ヲ行ヒ送金ハ同會ヲシテ行ハシムル等總テ從來ノ慣例ヲ踏襲シタリ
 内務省東衛第一一六八號

昭和七年九月二十九日

内務省衛生局長

北海道長官殿
府縣知事殿

醫療救護ニ關スル件

曩ニ内務次官ヨリ標記ノ件ニ關シ通牒相成候處^{財團}濟生會ヲ通ジテ行ハルベキ施設ノ實施ニ付今般同會ヨリ委嘱相受ケ左記
 ノ通豫算配付候條御了知相成度尙之ガ實施ニ當リ萬遺憾ナキヲ期セラレ度
 追テ本醫療救護費ノ配當ニ付テハ政府會計年度ニ依リ御取扱相成又豫算ノ科目ハ臨時委託醫療救護費ノ款項ニ、委託診療、
 巡回診療、出張診療、事務費等ノ目ニ依リ整理セラレ度尙本成績ニ付テモ曩ニ内務次官通牒追書ノ如ク御報告煩スベク候
 條爲念申添候

記

- 一金 圓 御下賜金
- 一金 圓 國費
- 計金 圓也

昭和七年九月三十日大島衛生局長ハ各地方長官ニ對シ醫療救護ニ關スル毎月ノ月報ヲ翌月十五日迄ニ送附スベキ旨ヲ左記ノ如

ク通牒セリ。

衛發第三五〇號

昭和七年九月三十日

内務省衛生局長

各地方長官宛

醫療救護月報ノ件

今般醫療救護ノ資トシテ御下賜金竝ニ國費ヲ配付セラレ之ガ施設ノ實施ニ著手相成候處右ノ實施狀況ヲ別紙様式ニ依リ取纏
 メノ上毎月々報トシテ承知致度候ニ付テハ其ノ翌月十五日迄ニ當衛生局へ到着スル様御報告相成度
 追テ本施設ニ對スル年報ヲ大體大正十四年六月十九日附發衛第九四號通牒様式ニ準ジ御報告煩スベキ考ニ有之候條豫メ御
 含置相成度

昭和 年

月分醫療救護取扱患者調

何

縣府廳

種別	委託診療			出張診療			巡回診療		
	往診	往診	入院	往診	往診	往診	往診	往診	往診
患者取扱									
同上累計									
治療延日數									
同上累計									
患者取扱									
同上累計									
治療延日數									
同上累計									

府縣	道府縣ニ於テ直接行フモノ	濟生會チ通シテ行フモノ	計	府縣	道府縣ニ於テ直接行フモノ	濟生會チ通シテ行フモノ	計	府縣	道府縣ニ於テ直接行フモノ	濟生會チ通シテ行フモノ	計
群馬	5,000		5,000	群馬	7,500		7,500	群馬	1,000		1,000
茨城	2,500		2,500	茨城	6,200		6,200	茨城			
栃木	5,000	2,000	7,000	栃木	2,000		2,000	栃木			
三重	6,000		6,000	三重	2,000		2,000	三重			
愛知	10,000		10,000	愛知				愛知			
山梨	3,700	8,100	11,800	山梨	2,300		2,300	山梨			
滋賀				滋賀	2,200		2,200	滋賀			
岐阜	10,000		10,000	岐阜	6,000		6,000	岐阜			
長野	1,000		1,000	長野	6,000		6,000	長野			
宮城				宮城	6,000		6,000	宮城			
計	51,000	10,800	61,800	計	37,000	2,000	39,000	計	37,000	2,000	39,000
府縣	道府縣ニ於テ直接行フモノ	濟生會チ通シテ行フモノ	計	府縣	道府縣ニ於テ直接行フモノ	濟生會チ通シテ行フモノ	計	府縣	道府縣ニ於テ直接行フモノ	濟生會チ通シテ行フモノ	計
和歌山	1,000		1,000	和歌山	7,500		7,500	和歌山			
徳島	6,200		6,200	徳島	2,200		2,200	徳島			
香川	2,000		2,000	香川	2,000		2,000	香川			
愛媛	1,100		1,100	愛媛	2,000		2,000	愛媛			
高知	5,000		5,000	高知	2,300		2,300	高知			
福岡	8,900		8,900	福岡	2,200		2,200	福岡			
大分	8,900		8,900	大分	2,200		2,200	大分			
佐賀	8,000		8,000	佐賀	2,200		2,200	佐賀			
熊本	1,900		1,900	熊本	2,200		2,200	熊本			
鹿兒島	6,500		6,500	鹿兒島	6,000		6,000	鹿兒島			
神戶	6,500		6,500	神戶	6,000		6,000	神戶			
合	35,900		35,900	合	37,000	2,000	39,000	合	37,000	2,000	39,000
計	66,300	10,800	77,100	計	66,300	10,800	77,100	計	66,300	10,800	77,100

第九 廳府縣ニ於ケル事業開始マデノ準備

廳府縣ニ於テハ救療事業實施前ニ各種ノ準備會合等ヲ行ヘリ。警察署長、市町村長等ヲ召集シテ 聖旨ヲ傳達シ且ツ實施ニ必要ナル事項ヲ訓示シ全廳府縣下ニ其ノ趣旨ノ普及徹底ヲ圖リ、又警察署長、市町村長、方面委員等ハ協力シテ慎重ニ要救療者ノ基本調査ヲ爲シテ其ノ名簿ヲ作製シ之ニ該當スル者ニ對シ必要ニ應ジ、恩賜治療券ヲ交付スルコトトセリ。

又醫師會、齒科醫師會、藥劑師會等ヲ召集シテ協力ヲ求メ實施上必要ナル事項ニ關シテ詳細打合ヲナシ且ツ其ノ他ノ醫療及救濟ニ關係アル諸團體等トモ緊密ナル連絡協調ヲ採リタリ。又青年會、處女會等ノ社會團體ニシテ之ヲ援助スルモノ尠カラズ斯ノ如クシテ救療上ノ完璧ヲ期シ漏救者ナカラシムルハ勿論濫救ヲモ防止スルニ努メタリ。

醫師會其ノ他醫療關係諸團體ニ於テハ其決議ヲ以テ懇切ト適切ナル治療ヲ施スヲ以テ主旨トシ其料金ハ 聖旨ヲ奉體シテ出來得ル限り之ヲ低減シ普通規程料金ノ半額以下ヲ以テ協定シ、手術料、往診料、入院料ノ如キハ殆ンド實費ヲ要求スルニ止ムル等頗ル機宜ニ適シタル契約書ヲ交換セリ。

第十 醫療救護ノ種類

醫療救護ハ之ヲ別テ大體(一)委託診療(二)出張診療(三)巡回診療ト爲ス。

(一) 委託診療

廳府縣下ニ於ケル全部ノ開業醫師ニ委託シテ行フ診療ニシテ(醫師ノ撰擇ハ勿論患者ノ自由ナリ)各廳府縣ニ於テハ前記ノ如ク恩賜治療券ヲ發給シ之ヲ市町村又ハ警察署等ニ分配シ役場員、警察署員、巡查駐在所員、方面委員等ノ手ニヨリテ患者ノ要求ニ基キ又ハ巡回視察ノ結果必要ナル要救療者ニ交付ス、入院又ハ手術等ヲ要スル場合ニハ夫々特別ノ治療券ヲ發給シ又患者ノ求メニ依リ或ハ醫師ノ見込ニ依リ必要ナル場合ニハ往診ヲ行フ。

(二) 出張診療

開業醫師ノ存在セザル町村ニ對シ其ノ近接ノ町村ヨリ醫師ヲ出張セシメ診療ヲ行ハシムルモノナリ。

出張診療ノ場所ハ町村役場、小學校、寺院等ヲ利用ス又特別ニ縣費ヲ支出シ又ハ醫師自ラ出費シテ出張診療所ヲ設備スルモノアリ、出張ハ豫メ日時ヲ定メ之ヲ村長ニ周知セシム其ノ回数ハ一ヶ月間ニ五回又ハ六回ナルモノ多數ヲ占ムルモノ一ヶ月間ニ二回乃至三回ノモノアリ或ハ八回乃至十回ノモノアリ。

(三) 巡回診療

醫師ノ存在セザル遠隔僻陋ノ地ニ對シテ行フ救療ニシテ、醫師、看護婦、事務員等ヲ以テ巡回診療班ヲ組織ス。此ノ如キ班ハ殆ンド大部分ノ廳府縣ニ一班又ハ數班アリテ月一回乃至六回位ノ程度ニテ豫定ノ村落ヲ巡回ス就中一ヶ月間ニ三回乃至四回ナルモノ多數ヲ占ム。

醫師、齒科醫師、藥劑師等ニ支拂フ醫療報酬額ハ當初ニ於テ當該地方長官ト契約シタルガ其ノ請求ハ多クハ一ヶ月一回トシ各會ノ事務所ヲ經テ廳府縣ニ提出支拂ヲ求ム。各廳府縣ニ於テハ事務費設備費等ヲ節約シ醫療救護費ノ殆ンド全部ガ直接醫療ノ資トナルベキコトニ對シ十分ノ考慮ヲ拂ヘリ。特ニ數府縣ニ於テハ配當金ヨリ事務費ノ支出ヲ快シトセズ全部地方費支辨トナシタルモノアリ。

齒科治療モ亦委託診療、出張診療ヲ行ヒタリ尙醫師ノ處方ニ依リ藥劑師會ノ會員ニ於テ調劑投藥シタルモノアリ。以上ノ外産婆會ト聯絡協調シ委託ノ形式ニ依リ或ハ巡回ノ形式ニ依リ分娩ノ取扱並ニ妊産婦ノ診療ヲナシタル地方少ナカラズ。

又多年放棄シテ顧ミザリシ盲目者ニ對スル開眼術ヲ行ヒタル府縣アリ或ハ又出張診療モ巡回診療モ行ヒ得ザル不便且ツ人口少敷ノ村落ニ對シテ常備應急治療藥ヲ配置シタル府縣アリ。

第十一 内務省ノ指導監督

一、學務部長會議ニ於ケル大臣指示

恩賜救護事業ノ開始ノ前及後ニ於テ内務省ハ之ガ指導監督ニ關シテ不斷ノ努力ヲ怠ラズ昭和七年九月六日同省ニ於テ開催セル學務部長會議ニ於テ山本内務大臣ハ左ノ指示ヲ爲セリ。

昭和七年九月六日學務部長會議内務大臣指示

醫療救護ニ關スル件

都鄙殊ニ農漁山村ニ於ケル救護事業ハ刻下焦眉ノ急務ナルヲ以テ可成財團濟生會其ノ他ノ醫療救護團體ヲ活動セシメ且ツ地方ノ實情ヲ顧慮シテ最モ適切ナル方策ヲ講ジ以テ遺漏ナキヲ期スルト共ニ往々濫救ノ弊ニ陥ラザル様格段ノ努力ヲ盡サレタシ。

二、衛生局員ノ出張監督

各地方ニ於ケル救護ノ實際狀況ヲ指導監督スル爲メ昭和七年十二月中樫田技師、内藤技師、飯村防疫官、勝俣防疫官、岡田囁託、佐々木屬等衛生局員六名ヲ各府縣ニ派遣シ親シク救護狀況ヲ巡視セシメタリ。

三、主管課長會議

各府縣ニ於テ恩賜救護ニ關スル事務ヲ取扱フ主管課ハ社會課又ハ衛生課ナルガ其ノ何課ニ於テ主管スルヲ問ハズ之ヲ招集シテ昭和八年一月九日ヨリ同月十三日ニ至ル五日間内務省ニ於テ關係主管課長會議ヲ開催セリ、此ノ會議ニ於テハ局長、課長、以下本省關係者全部出席シ各府縣主管課長ヨリ當該府縣ニ於ケル救護事業ノ内容ヲ委曲ニ亘リテ述ベシムルト共ニ實施狀況ノ

開陳ニ依テ改善ノ必要アルモノハ之ニ適當ノ指示ヲ與フルヲ以テ目的トシタル爲一日二十府縣以下ヲ召集シ親シク懇談シタルガ甚大ノ效果ヲ擧ゲ得タリ。

四、大島衛生局長ノ遺牒

前記打合せノ結果實施上支障ノアル點ヲ指摘發見スルヲ得タルヲ以テ昭和八年二月十五日大島衛生局長ハ各地方長官ニ對シ更ニ總括的ニ左記醫療救護ニ關スル件ヲ通牒シ各種事項ノ詳細ニ亘ツテ注意ヲ喚起セリ

内務省發衛第二一號

昭和八年二月十五日

内務省 衛生局長

廳府 縣長 官 殿

醫療救護ニ關スル件

今回ノ醫療救護ニ關シテハ銳意努力實施相成其ノ實績見ルベキモノ有之候モ過般各府縣關係課長打合せノ結果ニヨルベ左記ノ點ニ付特ニ留意ヲ要スベキモノアルヤニ認メラレ候條十分參酌ノ上所期ノ目的ノ達成ニ萬遺憾ナキヲ期セラレ度

記

一、救護ノ方法ハ醫療ノ便アル地ニ對シテハ委託診療ヲ、其ノ便ナキ地ニ對シテハ附近市町村ノ醫師ノ出張診療ヲ爲サシメ委託診療及ビ出張診療ニ依リ難キ僻地ニ對シテハ巡回診療ヲ行フヲ以テ適當ナリト認メラル、トコロ特別事情ナキニ拘ラズ叙上ノ趣旨ニ副ハザルモノアリ此ノ點十分考慮セラレタキコト

二、巡回診療ハ其ノ診療ノ範圍小ナルニ比シ多額ノ經費ヲ要シ延イテハ他ノ救護費ノ減少ヲ來スモンナルヲ以テ巡回診療ノ設置及場所ニ就イテハ救護普及及ビ經費ノ按配ヲ考慮セラレタキコト

三、出張診療所ノ位置ニ就イテハ既設ノ醫療機關トノ距離ニ關シ考慮ヲ缺クモノアリ、又出張回数少ナキニ失シ(少ナキハ月一、二回)或ハ多キニ流ル、モノ(多キハ月二十回以上)アルヤニ認メラル、ヲ以テ醫療ノ目的、經費ノ按配ニ鑑ミ十分留意セラレタキコト、且出張診療所ニ於テハ投藥セザル向モアルヤニ認メラル、モ被救護者ノ便宜ヲ圖ル上ニ於テ投藥

- 其ノ他ニ就キ留意セラレタキコト
- 四、要救療者資格ノ標準ノ決定ハ救療ノ普及並ニ經費ノ關係上最モ重要ナル事項ナルヲ以テ別紙各廳府縣ノ狀況ヲ參酌シ適正ヲ得ル様注意セラレタキコト
 - 五、要救療者中ニハ其ノ體面不義理又ハ取扱及治療ノ不親切ナル等ヲ理由トシテ救療ヲ受クルヲ嫌フモノアルヤニ思料セラレ、ヲ以テ救療ノ方法ハ叙上ノ事情ヲ考慮シ要救療者ノ心情ヲ諒察シ適當ノ方法ヲ講ゼラレタキコト
 - 六、今回ノ救療ニ關シテハ救療ノ趣旨未ダ徹底セザルモノアルヤニ思料セラレ、ヲ以テ特ニ要救療者ニ對シ本救療ノ趣旨ノ周知方ニ付留意セラレ、コト
 - 七、救療券ノ交付ニ關シテハ救活ヲ缺キ又ハ不公平ナルノ誹ナシトセズ依テ要救療者ノ名簿ヲ整備シ救療券ヲ關係各方面ニ配置シ以テ要救療者ニ對シ敏捷且公平ナル交付ニ留意セラレタキコト
 - 八、醫療料金ハ救療ノ趣旨及醫療ノ目的ニ鑑ミ適當ナラザルモノアルヤニ思考セラレ、ヲ以テ別紙各廳府縣ノ狀況ヲ參酌シ十分考慮セラレタキコト、尙救療ノ趣旨ニ副ハザル不相應ナル醫療料金ヲ要求スルモノナシトセザルヲ以テ是等ニ對シテハ嚴重ナル監査ヲ加ヘラレタキコト入院又ハ手術ヲ要スル病者ニ對シ全然考慮セラレザルモノアルヤニ思考セラレ、ヲ以テ適當ニ其ノ途ヲ開カレタキコト
 - 九、醫師ノ出張手當ニ關シテハ不適當ナルモノナキニアラズ出張ノ遠近、交通ノ便否等ヲ參酌シ別紙參照ノ上實狀ニ即シテ適當ニ考慮セラレタキコト
 - 一〇、今回ノ救療ハ要救療者ニ對シ無料診療ヲ主旨トスルモノナルトコロ出張又ハ巡回診療ニ於テ餘裕アルトキハ要救療者以外ノ者ヲ診療スルモ差支ナキコト、此ノ場合ニ於テハ相當料金ヲ受領シ其ノ收入ハ救療費ニ充當スルカ其ノ他適當ナル方法ヲ以テ處理セラレ、コト、
 - 二、事務費ハ可成節約シ殊ニ出張診療、巡回診療等ニ於ケル事務費ノ如キハ出來得ル限リ節約セラレ、コト
 - 三、本救療事業ニ就イテハ社會課ト衛生課トノ間ニ十分連絡協調ヲ要スルノミナラズ、救療地ノ市町村ニ於テモ關係各方面

例ヘバ市町村長、警察署長、區長及方面委員等ニ對シ特ニ協力ヲ要スルヲ以テ關係各方面ヘノ連絡協調ニ就キ十分考慮セラレタキコト

各種醫療機關殊ニ醫師會、齒科醫師會、藥劑師會等トノ連絡協調ハ本事業ノ遂行上格別ノ留意ヲ要スルヲ以テ十分此ノ點ニ關シ注意セラレタキコト

五、廳府縣ニ於ケル要救療者ノ範圍及醫療報酬一覽

主管課長會議ニ於テ討議シタル事項ハ勿論多種多樣ナルモ各府縣トモ他ノ府縣ニ於ケル要救療者ノ範圍並ニ救療報酬規定ニ付キ之ヲ知ルノ要望切ナルモノアリシヲ以テ衛生局ニ於テ之ヲ取纏メ左記ノ一覽ヲ各府縣ニ配付セリ。

道府縣	要救療者ノ範圍	醫療報酬	道府縣	要救療者ノ範圍	醫療報酬
北海道	特別稅戶數平均額二分ノ一以下ヲ負擔セル者ニシテ自費治療ノ費ナク町村長ニ於テ豫メ疾病ニ際シ救療ヲ要スト認メ要救療者登載ニ登錄セル者ニ限ル	一、委託診療 投藥料 普通内服藥 一劑一日分十五歳未満四錢以内 八錢以上 但シ一時ニ數劑投與スルモ一日十五歳未満十錢十五歳以上二十錢ヲ超スルコトヲ得ス 頓服藥 一劑一回分 五錢以内 外用水藥散藥、塗布藥、點眼藥、座藥 等一劑五錢以内 以上瓶代ハ別ニ一個五錢ヨリ一錢 入院料 普通八十錢 妊産婦六十錢 手術料 一等 一回分 十四以内 二等 同 五圓以内 三等 同 二圓以内	北海道 (續)		
					四等 一回分 一圓以内 五等 同 五十錢以内 六等 同 三十錢以内 七等 同 十錢以内 注射料 注射藥購入額ノ二割ヲ加ヘタル金額以内 處置料 一等 一回 六十錢以内 二等 同 三十錢以内 三等 同 十五錢以内 四等 同 五錢以内 綿帶料 一回三十錢ヨリ五錢以内ノ三階段 レントゲン寫真料 二圓ヨリ八十錢以内ノ四階段 諸證明料 一通二十錢ヨリ十五錢以内

道府縣	要救療者ノ範圍	醫 療 報 酬
北海道	(續)	處方箋料 一通 二十錢以内 往診料 車馬賃一里ニ付五十錢以内 汽車船賃ハ二等賃 大體以上ノ如クニシテ前項ニ據リ難キトキハ市町村長官ノ認可ヲ受クルコト 右ハ恩賜濟生會救療規程ニシテ今回ノ救療ハ前各項ヲ通シ其ノ二割ヲ低減シタル額トセリ但シ入院料往診料ハ低減セズ 注射料等器衛生材料ハ賃費トス 出張診療一ヶ月二回出張スルモノトシテ一人一ヶ月五圓ノ手當車馬賃ハ右一〇號ニヨル
京都	町村長、方面委員又ハ警察官吏ニ於テ救療ヲ受クベキ者ノ資産、所得ノ有無其ノ他各種ノ狀況ヲ充分調査シ認定シタル者	一、委託診療 藥治料 一人一日 十三錢 文書料 同 一回 二十錢 手術料 同 一回 一圓 處置料 同 同 二十錢 注射料 同 同 三十錢 齒科診療ハ健康保險診療料金ノ三分ノ一 但シ特ニ治療ヲ要シ放置シ難キモノ藥劑師ニ就キ藥劑ヲ受クル場合ハ調劑料一人一日五錢 二、出張診療 出張一回一日五十錢ノ手當但シ二里以上ノ距離ノ場合ハ別ニ救護法施行細則第四條ニ依ル旅費ヲ支給ス
神奈川	無告ノ窮民ニシテ醫藥給セズ他ニ公私救療ヲ受クルノ途ナキ者ニテ市町村又ハ警察署ノ治療券ヲ受クルモノ	一、委託診療 投藥料 一人一日 十錢以内 入院料 同 同 五十錢以内 處方箋ニ係ル場合ノ藥價一人一日五錢以内 手術料 實費 特別藥品又ハ材料ヲ要シタルトキ實費 處方箋診斷書及死亡證明書一通五錢以内 往復旅費陸路一里ニ付二十五錢、海路一哩ニ付四錢、汽車路一哩ニ付三錢 二、出張診療 一ヶ月六回(平日)二十五圓(藥品及治療材料ハ出張醫ノ自辨)
大阪	要救療者ノ範圍	各種救護法命令ニ依リ救護ヲ受ケ得ル生活程度ノ者ニシテ醫藥ヲ受クルノ費ナキモノ(但シ現ニ救護ヲ受ケツ、アル者ハ除ク)ニシテ町村長、警察署長又ハ方面委員ヨリ診療券ヲ受クル者ニ限ル
道府縣	要救療者ノ範圍	醫 療 報 酬
新 潟	縣内ニ住居スル者ニシテ左ニ該當シ他ニ公私救療ノ途ナキトキハ救療ヲ受クル資格アルモノトセリ 右ハ調査簿ニ登録ス 特別稅戶數割一戸平均額十分ノ一以下ノ賦課ヲ受クル者 生活困難ニシテ特ニ事情已ムヲ得ズト認ムル者	一、委託診療 入院料 病院醫院各自所定最低額ノ半額 藥價 各都市醫師會所定最低額ノ半額 手術料、處置料 同額ノ三分ノ一 診察料 往診ヲ要スルモノ、三車馬賃ノ實費 死體檢案料 各都市醫師會規定セルモノ、半額 診斷書 無料 齒科ニ屬スル分 鑲補牙齒ニム充填ハ無料 其ノ他高價ノ材料ヲ要スルモノハ所定ノ半額 藥劑師ニ屬スル分 調劑費ニ拘ハラズ一日分十二錢 二、出張診療 醫師手當 日當五圓、車馬賃一里三十八錢、汽車船賃二等實費、宿泊料二圓八十錢 看護婦 日當一圓二十錢、車馬賃一里二十九錢、汽車船賃三等實費、宿泊料二圓四十錢 積雪ノ時期ニ於テハ割増チナス
兵 庫	醫療ノ資力乏シキ者ニシテ之ガ資格認定ハ左ノ標準ニ據ル 特別稅戶數割ノ免除ヲ受クル者 特別稅戶數割最下ノ等級ニ該當スル者、等級ノ設ケナキ場合ハ戶數割最下ノ負擔者特別稅戶數割ヲ賦課セザル町村ニアリテハ最下層ノ貧困者 前各號ノ外自ラ醫療ヲ受クル資力ヲ有セザル者	一、委託診療 藥治料 一人一日 十五錢 入院料 同 一回 一圓 診察料及診斷書料 無料 往診往復車馬賃ハ片道一里以上ニ限リ實費 榮養券 一枚 十錢
長 崎	貧困ノ爲救療ノ途ナキ者戶數割ヲ免除セラレタル者及其ノ家族 前各號ノ外市町村長、警察官吏又ハ方面委員ニ於テ其ノ必要アリト認メタル者 右ニ該當スル者ハ市町村長警察官吏又ハ方面委員ヨリ診療券ヲ受クルコト、ナリ居レルモ往診ヲ求ムル場合ノトキハ前三者ノ承認ヲ受リルコト、セリ	一、委託診療 診察、投藥並ニ處置料 一日分十五錢以内 調劑料 一日分 七錢以内 手術料 一回以内 但シ特別ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ 入院料 一日分 八十錢以内 助産入院料 一日分 六十錢以内 但シ藥價及食料ヲ含ム 助産料 金二圓以内 但シ消毒藥品材料及手當ヲ含ム 往診料 一里ニ付 二十五錢 但シ往復一里未滿ハ切捨トス 右ニ依リ難シト認メタル場合ニ於テハ其ノ實費ヲ支給ス 二、出張診療 隔日若ハ二日置ニ出張 醫師手當半ヶ年二百五十圓乃至七百五十圓
埼 玉	縣住民ニシテ疾病傷損ニ罹リ又ハ妊娠シタル者自ラ治療若ハ助産ヲ受クルノ費ナク他ニ治療助産ヲ受クルノ途ナキ者	一、委託診療 入院料 一日 九十錢 但シ食料ヲ除クトキハ六十錢 外來治療費、内外科其ノ他各科通シテ一日十錢 手術高價藥品又ハ特殊ノ材料ヲ要シタルモノハ健康保險診療報酬點數計

道府縣	要救療者ノ範圍	醫 療 報 酬
埼玉 (續)	縣住民ヲ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケルルモ醫療ノ途ナキ者若ハ妊娠婦助産ヲ受ケルノ費ナキ者ニシテ市町村長ノ認定シタルモ	<p>算規定ニ依ル最低點數三十錢ヲ乘シタルモノトス</p> <p>診察料及死體檢案料 無料但シ往診ノ際ハ一里五十錢ナルモ實費ニ滿タザルトキハ實費ヲ支給ス</p> <p>諸斷書料及處方箋ハ無料</p> <p>右處方箋ニ依リ調劑スルトキハ一日一劑六錢但シ高價ノ藥劑及容器ハ實費ヲ支拂フ</p> <p>助産料ハ産婦一人ニ付二圓五十錢以下トス但シ消毒藥品及往復旅費等ヲ含ム</p>
千葉	レバ生存ヲ維持シ能ハザルモノ	<p>入院料 一人一日 一圓五十錢</p> <p>但シ治療費食費一切ヲ含ム</p> <p>處方箋料 以上醫師會業務規定ノ死體檢案 最低ノ半額トス</p> <p>書料 同上</p> <p>種痘料 前項ノ規定ニヨリ難キモノニ付テハ實費トス</p> <p>右ノ分千葉縣商科醫師會員、千葉縣藥劑師會員、千葉縣產婆會員ニ就テハ各會開業規定ノ半額トシ千葉縣醫師會員タル各郡市醫師會員ニ就テハ日本醫師會健康保險診療報酬點數計算規定ノ點數ヲ十二錢五厘ニ乘シタル額ヲ以テ限度トス</p>
茨城	本縣住民ニシテ左ニ該當ノモノ	<p>一、委託診療</p> <p>藥價 一口分 十五錢以内</p> <p>入院料 (食費、藥價、器具、其ノ他ノ費用ヲ含ム、患者一人一日分) 一圓以内</p> <p>處方箋、診斷書及死亡證明書一通二十錢以内</p> <p>診察料 無料</p> <p>車馬賃 往復陸路一里ニ付三十錢汽車二等賃、汽船一圓四錢</p> <p>前號分ノ診療費ハ日本醫師會健康保險診療報酬點數計算規定ニヨリ一點單價十錢トス但シ二百點ヲ超ユルコトヲ得ズ</p> <p>商科處置料 一口 十五錢</p>
千葉 (續)	レバ生存ヲ維持シ能ハザルモノ	<p>一、委託診療</p> <p>藥價 一人一日 十二錢</p> <p>處置料 一人一回 十二錢</p> <p>手術料 一人一回大一圓小五十錢</p> <p>特別大手術、消費材料費</p> <p>檢査並注射料 一人一回 三十錢</p> <p>齒科ハ健康保險診療契約料金ノ三分ノ一</p> <p>文書料 一通 二十錢</p> <p>入院治療ヲ要スル患者附料一人一日六十錢</p> <p>往診車馬賃一里 二十錢</p> <p>藥劑師 調劑藥價一人一日 七錢</p> <p>助産費 一件 三圓</p> <p>看護人其他雇借費 實費</p>

道府縣	要救療者ノ範圍	醫 療 報 酬
茨城 (續)	方面委員ノ調査スベキカ一ノ階級者	<p>一、委託診療</p> <p>初診料 無料</p> <p>往診料 半里以内六十錢以上半里ヲ超スルニ六十錢車馬賃ハ半里以内無シ</p>
栃木	疾病傷損ニ罹リ又ハ妊娠シタル者自ラ治療若ハ助産ヲ受ケルノ費ナシシテ他ニ救養ノ途ナキ者ニツキ警察署長、市町村長合議ノ上決定	<p>一、委託診療</p> <p>内服藥(水散丸)一人一日十二錢</p> <p>頓服藥 一回 六錢</p> <p>點眼藥 一劑 十錢</p> <p>注射液 三百五十二錢</p> <p>撒布藥 一劑 十錢</p> <p>膏藥 一劑 十錢</p> <p>塗布藥 一劑 十錢</p> <p>座藥 一劑 十錢</p> <p>電氣治療料一回 十錢</p> <p>胃洗滌料一回 二十錢</p> <p>靜脈皮下注射料一回 五十錢</p> <p>灌腸料一回 二十錢</p> <p>一般處置料一回 十五錢</p> <p>特別ノ治療ヲナシタルトキハ實費トス</p> <p>入院料(食費、藥價、器具、其ノ他一切ヲ含ム) 一人一圓二十錢</p> <p>診察料 無料</p> <p>車馬賃 往復陸路一里三十錢ハ一里未滿無料、汽水賃實費</p> <p>處方箋 一通 二十錢</p> <p>診斷書 一通 三十錢</p>
奈良	本縣居住ノ貧困者ニシテ疾病ニ罹リ又ハ傷損ヲ受ケ醫療ヲ受ケルノ費力ナキモノニシテ市町村長、方面委員、警察署長ノ認定セルモノ	<p>一、出張及委託診療</p> <p>(イ) 居宅救護ノ場合</p> <p>藥治料 一日一劑十錢、一日二劑以上二十錢但シ特ニ高價ノ藥劑ヲ用ヒタルトキハ實費</p> <p>處置料 一回十錢但シ一日二回以上ニ亙ルモ十錢</p> <p>注射料 一回三十錢特ニ高價ノ藥劑ヲ用ヒタルトキハ實費</p> <p>診察料 無料但シ醫師ノ治療ヲ要セザル場合ハ一回四十錢</p> <p>手術料 患者ノ手術ニ要シタル材料ノ實費</p> <p>車馬賃 一里ニ付 三十錢</p> <p>(ロ) 收容救護ノ場合</p> <p>診療費 一人一日 四十錢</p> <p>食費 一人一日 三十錢</p>
三重	特別戶數割免除者又ハ之ニ準ズベキ者ニシテ市町村長、方面委員、警察官吏ノ證明アル者	<p>一、委託診療</p> <p>診察料 無料</p> <p>處方箋料 無料</p> <p>往診料 市町村區域内無料</p> <p>區域外ハ一里ニ付五十錢、往診車馬賃實費</p> <p>藥價 内服藥一日十二錢、頓服藥一日八錢、外用藥十二錢、塗布藥、散布藥一劑十錢、局所藥一ケ十錢</p> <p>處置手術料 小處置料五錢、中處置十五錢、大處置料三十錢、特別處置料(處置料以外ニ藥品代)、單純ナル手術五十錢、中等大手術二圓、大手術十圓、特別大手術三十圓</p> <p>治療費 一人一日 二十四錢以内</p> <p>入院料 同 六十錢</p>

道府縣	愛知	要救療者ノ範圍	市町村長並ニ市町村長ノ依頼アル方面委員又ハ警察官吏ヲシテ方面カド登録第一種第二種カード者若シハ之ニ準ズル者ヲ標準トシテ救療ノ要アリト認ムル者	醫 療 報 酬	一、委託診療 醫報酬ハ日本醫師會健康保險點數計算規定ニ依リ一點ノ單價十錢トシテ計上 初診料 一、五點 文書料 一通ニ付一點(處方箋、死亡診斷書ヲ含ム) 入院料 一人一日 八十錢 醫報ノ範圍 診察(往診、宅診、健康診斷ヲ含マズ) 注射、處置、手術料等 検査文書 入院(手術以外ノ治療處置注射並ニ器具、服及共ノ他ノ設備ヲ含ム) 三、巡回 縣直營 三、輕費診療 初診料十錢、往診ハ一般料金ノ半額トス 投藥 一日一劑 十錢 前二項以外ノ醫報料金ハ一般料金ノ半額トス
道府縣	山梨	要救療者ノ範圍	左ニ掲グル者ニシテ市町村長ニ於テ救療ヲ要スト認メタルモノ 一、其ノ市町村ニ於ケル特別稅戶數割一戸當平均賦課額ノ四分ノ一以下ヲ負擔シ居ル者及其ノ家族同居人 二、前號ニ該當セザルモ特別ノ事情ニ依リ市町村長ニ於テ同程度ノ者ト認メ豫メ知事ノ承認ヲ受ケタル者	醫 療 報 酬	一、出張診療 診察料 無料 處方箋料及診斷書料 無料 藥治料 一日 十二錢 注射料 一回 二十錢 但シ高價ノ藥品ハ實費二十錢ヲ加フ 企業注射及靜脈注射ニ對シテハ實費ノ外五十錢 手術料 十圓、五圓、三圓、一圓五十錢、六十錢、三十錢、十錢 處置料 一圓、三十錢、十五錢、十錢、五錢 繃帶交換料 三十錢、十五錢、十錢 検査料 尿、糞便、喀痰、血液ノ顯微鏡的検査並ニ化學的検査八十錢乃至三十錢トス 入院料 六十錢 但シ手術料四等以上ノモノハ別ニ之ヲ請求スルコト 往診料 半里ニ付車馬賃三十錢、(半里未満ハ切捨テル)二里以上ハ二里ニ付五十錢ノ特別手當ヲ拂フ
道府縣	滋賀	要救療者ノ範圍	本縣住民ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ、但シ他ニ救療ノ途アルモノハ其ノ限ニアラズ 一、公費ノ救助ヲ受ケル者及其ノ家族 二、前號ノ外自ラ醫療ヲ受ケル者力ナキ者	醫 療 報 酬	一、委託診療 藥價 一日分 十五錢以内 血清代手術料 實費 入院料 一日 一圓以内 處方箋料 五十錢 死亡診斷料 無料 往診車馬賃 一里ニ付 三十五錢

道府縣	岐阜	要救療者ノ範圍	濟生會ニ準シ救療又ハ投藥スルコト救護法其ノ他法令ニ依リ救療ノ途ノ拓カシタルモノハ救療投藥ヲナササルコト	醫 療 報 酬	一、委託診療 本市醫師會所定額ノ半額トス 但シ血清其ノ他高價ナル藥劑治療用品及薪炭費等實費ヲ要スルモノハ各郡市醫師會ノ定ムル所ニヨル 二、齒科診療 治療、藥價ハ規定ノ五割引 技工、充填料ハ規定ノ四割引 一、委託診療 從前通り縣醫師會トノ協定ニヨリ規定料金ノ半額トス 但シ高價藥、往診料、入院等ニシテ半額トナシ難キトキハ實費トス
道府縣	岩手	要救療者ノ範圍	左ノ各號ノ一ニ該當スル市町村住民 一、公費ノ賦課ヲ免除セラレタル者及其ノ家族 二、公費ノ賦課ヲ免除セザルモ事實上困窮シアリト認メラル、者及其ノ家族 三、其ノ他救療上必要ト認メラル、者	醫 療 報 酬	一、委託診療 診察料 無料 イ、宅診料 無料 ロ、往診料 無料 但シ鐵道賃及船賃ハ最低料金ヲ車馬賃及宿泊料ハ實費ヲ徴ス 證明料 往診ノ場合ハ口ヲ適用ス イ、死體檢案書料 五十錢以内 ロ、死體證明料 五十錢以内 藥治料 一人一日 十二錢以内 但シ高價藥ハ實費 處置料 一日 十五錢以内 繃帶材料ハ實費トス 注射料 一人一日 三十錢以内 手術料 大手術七圓以上二十四圓未満、中手術七十錢以上七十圓未満、小手術三十五錢以上七十圓未満 入院料 一人一日 八十錢以内 (藥治料、食料費、薪炭費、器具費ヲ含ム) 助産ノ報酬 一人一日 三圓以内
道府縣	青森	要救療者ノ範圍	治療ノ途ナキ貧困者	醫 療 報 酬	一、委託診療 醫師會、齒科醫師會、藥劑師會ノ報酬規定ノ半額 一、委託診療 診察料 無料 往診ノ際ハ其ノ往復車馬賃五十錢一里ヲ増ス、毎二十四錢ヲ増ス 立會往診 一圓 滞在料 一日 三四 死體檢案料 一圓 鑑定料 一圓
道府縣	山形	要救療者ノ範圍	濟生會山形縣診療規定第一條ニヨル該當者ハ勿論現下經濟界ノ不況ニ伴ヒ醫療ヲ受ケルニ困難ナル傷病者ニシテ規定形式ニ流レズ實狀ニ適應スル處置ヲナスコト	醫 療 報 酬	一、委託診療 診察料 無料 往診ノ際ハ其ノ往復車馬賃五十錢一里ヲ増ス、毎二十四錢ヲ増ス 立會往診 一圓 滞在料 一日 三四 死體檢案料 一圓 鑑定料 一圓
道府縣	宮城	要救療者ノ範圍	大體濟生會ニ於ケル救療標準ニヨリ稱之ヲ擴張シ町村長ヲシテ調査セシメ警察署長ト協議ノ上決定セシム	醫 療 報 酬	一、委託診療 入院料 一日 六十錢 結核患者ハ一日一圓三十六錢 外來 一日 十二錢 處方箋 二十錢 處方箋ニヨル藥價一日八錢 高價藥ハ實費 手術料 實費(注射料處置料) 助産料 一圓 (分娩當日一回ニ限ル) 車馬賃 一日 四十錢
道府縣	福島	要救療者ノ範圍	一、救療ノ範圍ハ貧困ニシテ公費負擔ノ資力ナク特ニ之ヲ免除ヲ受ケル者及其ノ家族 二、前號ノ外之ニ準ズベキ貧困者 市町村長、警察署長協議ノ上選定ノコト	醫 療 報 酬	一、委託診療 入院料 一日 六十錢 結核患者ハ一日一圓三十六錢 外來 一日 十二錢 處方箋 二十錢 處方箋ニヨル藥價一日八錢 高價藥ハ實費 手術料 實費(注射料處置料) 助産料 一圓 (分娩當日一回ニ限ル) 車馬賃 一日 四十錢

道府縣	要救療者ノ範圍	醫 療 報 酬
山形	(統) 罹病スルモ醫療ヲ受ケルコト能ハザルモノ及之ヲ受ケルコト困難ノ状態ニアルモノトス右範圍ノ決定ハ豫メ管區巡査町村長方面委員ニ於テ協議ノ上決定シ要救療者世帯主名簿ヲ作製シ同名簿登載者及其ノ家族ガ罹病セルトキ之ヲ救療ス	診察料 無料 處方箋料 三十錢 手術料 二十五錢以上 手術料五圓以上ヲ要スル場合ハ知事ノ承認ヲ要ス 内服藥 十二錢 頓服藥 七錢 坐 藥 五錢 外用藥 十錢 敷布及撒布藥 十錢 膏 藥 十錢 入院料 一日 一圓 食費藥價ヲ含ム 特別處置料ヲ除ク 本項ニヨリ難キ場合ハ知事ノ承認ヲ要ス
秋田	罹病スルモ醫療ヲ受ケルコト能ハザルモノ及之ヲ受ケルコト困難ノ状態ニアルモノトス右範圍ノ決定ハ豫メ管區巡査町村長方面委員ニ於テ協議ノ上決定シ要救療者世帯主名簿ヲ作製シ同名簿登載者及其ノ家族ガ罹病セルトキ之ヲ救療ス	一、委託診療 入院料 一日 八十錢(食費共) 助 産 三圓 處方箋 一回 二十錢 藥治料 一日 十錢 手術料 一回 一圓以内 往診料 一里以上一里ニ付五十錢、一里未満ハ無料、初診ニ限リ三十錢 處置料 一回 十五錢 検査料及注射料 一回 十五錢 一、委託診療 外來患者治療費 一人一日十五錢 (診察料、藥價、治療材料費共) 入院患者費 一人一日 一圓
福井	疾病ニ罹リ(妊産婦ヲ含ム)又ハ傷損ヲ受ケ左ノ各號ノ一ニ該当スルモノ他ノ事由ニ依リ救護ヲ受	一、委託診療 入院料 一日 八十錢(食費共) 助 産 三圓 處方箋 一回 二十錢 藥治料 一日 十錢 手術料 一回 一圓以内 往診料 一里以上一里ニ付五十錢、一里未満ハ無料、初診ニ限リ三十錢 處置料 一回 十五錢 検査料及注射料 一回 十五錢 一、委託診療 外來患者治療費 一人一日十五錢 (診察料、藥價、治療材料費共) 入院患者費 一人一日 一圓
石川	(統) タルモノノ除ク 一、農漁山村又ハ其ノ他ノ地ニ在住シ交通不便ノ爲ニ醫療ヲ受ケルニ困難ナル者 二、常ニ醫療ヲ受ケルノ資ニ乏シキモノ 三、其ノ他必要ト認メタルモノ 市町村長ハ警察署長ト協力シ右該當者ヲ調査スルコト	一、委託診療 診察料 無料 往診ヲ要スルモノハ往復一里ニ付三十錢 藥治料 一人一日 十二錢 處方箋ニ依リ藥劑師ノ調劑スル場合ハ一人一日一劑六錢 處置料 一人一回 十錢 手術料 一人一回 小手術三十錢 検査料 一人一回 二十錢 注射料 一人一回 二十錢 文書料 一件 十錢 充填料 一箇 五十錢 右ノ事情ニ依リ難キモノニ付テハ市町村長ハ知事ノ認可ヲ申請スルコト 助 産 一人一回 六圓以内 入院 一人一日 八十錢 (食費ヲ給セザルトキハ半額)

道府縣	要救療者ノ範圍	醫 療 報 酬
富山	診療ヲ受ケベキモノハ概兵軍人遺家族タル者及其ノ他ノ者ニアリテハ原則トシテ特別戸數割ノ負擔歩合三步以下ニ相當スルモノ、戸數割ヲ施行セザル市町村ニアリテハ之ニ相當ト認メラレタル庶民階級ノ者ナルコト但シ開業醫師ナキ町村ニ在リテハ同負擔歩合五歩以下及特別事由アルモノハ之以上ノモノト雖モ診療ヲ受ケルコトヲ得選定ハ町村長ニ於テナス	一、委託診療 一人一日ノ治療費 十錢以内 入院治療費食料藥治代八十錢以内 看護人手當 一日 二十五錢以内 處方箋ニヨル調劑 五錢以内 處方箋 三十錢 往診ノ場合ハ車馬賃トシテ片道一里迄三十錢、同上 一里半迄五十錢
鳥取	傷損病疾ニ罹リタル者若ハ妊産婦ニシテ治療又ハ助産ヲ受ケル費力ナク他ニ公私ノ救療ヲ受ケル途ナキモノヲ市町村長、方面委員警察官吏ニ於テ選定	一、委託診療 藥 價 一日 十五錢 但シ處方箋ニ依リ藥價一劑六錢 入院料 一日 八十錢 手術料 大手術一回七圓以内、中手術一回四圓以内、小手術一回一圓以内 齒科手術 一回 四十錢以内 處置料 一回 十錢 助 産 一回 六圓 往診料 一回 五十錢 但シ片道一里未満無料 醫師旅費 車馬賃 一里 四十錢 鐵道賃 汽車二等 賃費 藥治料 一人一日 十錢
岡山	(統) 中産階級以下ノ者ニシテ醫療ノ資ニ困難シ市町村長、濟世顧問、濟世委員及警察官ニ於テ其ノ必要ヲ認メタルモノ	一、出張診療 日 當 二圓五十錢 車馬賃四軒以上ニ亙ルトキハ四軒ニ付三十錢、汽車賃二等賃費、二等ナキトキハ其ノ賃費 二、委託診療 各都市醫師會規定又ハ内規ノ二分ノ一但シ診察料ハ無料 往診ノ場合車馬賃ハ往復四軒未満ハ三十錢四軒ヲ増ス毎二三十錢、鐵道賃船賃ハ賃費二等ナキトキハ其ノ賃費 一人一回ノ治療費五圓又ハ治療日數三十日以上ニ亙ル見込ノトキ及入院ヲ要スル場合ハ市町村長ヲシテ知事
鳥根	(統) 者 二、農漁山村其ノ他救療セル地方ノ窮民 三、開業醫及産婆ナキ町村ノ窮民 認定ハ市町村長、警察署長、方面委員ニ於テ査定ノ上救療者名簿ニ登錄スルモノトス	入院料 一人一日 五十錢 處方箋料 一週間 三十錢 處方箋ニ依ル場合ノ藥價 一人一日 五錢 手術料 醫師會規定ノ半額以内 血清ヲ使用シ其ノ他治療ノ爲特別ノ藥品並ニ材料ヲ要シタルトキハ賃費額以内 患者入院ノ場合ニ於テ附添看護人又ハ幼児ノ攜帶ヲ許シタルトキ 附添看護人又ハ幼児ノ食料料 一人一日 三十錢以内ノ賃費 往診旅費 陸路片道一里以内ノ場合ハ一里ニ付二十錢 鐵路ハ一哩ニ付四錢 海路ハ一哩ニ付五錢

道府縣	岡山	要救療者ノ範圍	醫 療 報 酬
廣 島	(統)	救護法該當者及濟生會ノ救療ヲ受ケル者ヲ除キ收入過少ノ爲醫療ヲ受ケルニ困難ナルモノ	ノ承認ヲ受ケシムルコト但急ヲ要スルトキハ事後ニ於テ承認ヲ受ケルコト 藥劑師ノ投藥セル藥價ハ一日一劑八錢
山 口		要救療者ハ主トシテ農漁山村ニ於テ當該年度特別稅戶數割一戸平均額ノ三分ノ一ノ賦課ヲ受ケル程度ノ者ニシテ醫療ノ費ニ窮スルモノ 救療券ハ有效期間チ一ヶ月トシ豫メ町村長ニ交付シ必要ニ應ジ再交付スルモノトス	一、委託診療 藥 價 十二錢均一 入院料 一日 八十錢 (食費ヲ含マザルトキハ半額) 手術料 一回 一圓以内 (但シ一回三圓以上ノ手術ニアリテハ公私立病院及醫師會所定額ノ三分ノ一以内) 處置料、注射料 公私立病院及醫師會所定ノ三分ノ一以内 血液注射料 實費 往診旅費 車馬賃片道一里以内ニ涉ルトキハ一里ニ付キ三十錢、鐵道賃及汽船賃ハ二等實費 但シ同一市町村内ニ於テハ之ヲ給セズ 二、出張診療 出張診療費ニ對シテハ一日ニ付平均五圓五十錢(交通ノ難易ニヨリ多少ノ増減アリ)ノ手當ヲ支給ス 他ハ委託診療ト同シ
德 島	和歌山	要救療者ノ範圍	醫 療 報 酬
		貧困ニ依リ疾病ニ罹リ醫療ヲ受ケル者力ナキモノ但シ救護法ニヨルモノハ除ク、市町村長、警察官吏、方面委員ニ於テ選定ス	一、辛ウシテ生活シ得ルモノ且事故アルトキハ自活シ能ハザルニ至ル處アルモノ 二、不具癡疾其ノ他特別ノ事由ニ依リ將來自活不能ニ陷ル虞アル者 市町村ニ於テ豫メ要救療者名簿ヲ作成
		昭和七年度限りノ條件ヲ附シ、醫師會ト協定シ救護法ニヨル醫療費ノ額トス	一、委託診療 診察料 無料 但車馬賃ヲ要スルトキハ半里毎三二十錢以内 藥治料 内服一劑一日十錢、二劑ヲ與フルモ五錢ヲ超ユルヲ得ズ、頓服五錢 外用藥 一劑 五錢 注射料(藥液ノ價ヲ含ム) 皮下又ハ筋肉注射十五錢乃至三十錢 ツンゲル、生理的食鹽水注射一圓 粉脈注射 五十錢 其ノ他特別ノモノハ實費 處置料 一回 十錢以下 但シ材料ヲ要スルモノハ五十錢以内 手術料 一圓以下 特別ノモノハ此ノ限リニアラズ 入院料 一日 一圓(藥價、食費) 文書料 無料 出張診療所ニ對スル診療手當ハ一回七圓

香 川	愛 媛	高 知	愛 媛
(統)	(統)		
一、特別稅戶數割ノ免除ヲ受ケルモノ及其ノ賦課額最低額ヲ受ケルモノ 二、其ノ他生計困難ノ狀態ニアルモノニシテ特ニ事情已ムヲ得ズト認ムルモノ	レバ忽チ自活困難ニ陥ルコトヲ免レヌト認ムル者	市町村住民ニシテ疾病、傷痍、出産等ノ爲診療並手當ヲ要スルモ貧困ニシテ之ガ途ナキ者ヲ市町村長ニ於テ方面委員、警察官吏等ト協力シ要救療者ノ調査ヲナス	一里以上八十錢以上二十町未満二十錢、二十町以上四十錢ヲ加フ 入院料 一人一日 八十錢 手術料 小手術二十錢、中、大手術ハ醫師會規定ノ半額 處置料 一回 十五錢 皮下注射 一回 十五錢 藥價 散藥、水藥、丸藥一日十二錢頓服一包八錢、膏藥一器八錢 血清、高價藥、注射藥ハ醫師會所定ノ半額 診察料 一回 十五錢 診斷書料 一枚 二十錢 一枚増ス毎二十錢 實費ニ充タザル時又ハ他ノ療法ニ依ル場合ハ醫師會所定ノ半額
一、委託診療 甲、醫 療 往診料 車馬賃用ヒタル場合ハ一里迄五十錢、一里又ハ其ノ端數ヲ増ス毎二十錢ヲ加フ 處方藥料 一人一回 二十錢 藥治料 一人一日 十二錢 處方箋ニ依ル場合ハ一日一劑六錢但シ高價藥使用ノ時ハ實費トス 處置料 一人一回 二十錢 手術料 一人一回 一圓 検査料 一人一回 三十錢 注射料 皮下注射料 一人一回 三十錢 粉脈注射料 一人一回 五十錢 但シ特殊注射ハ實費トス 入院料(食費、藥價ヲ含ム) 一人一日 一圓 乙、齒科醫療 治療 一齒一回 十五錢 藥治療 一人一回 八錢 充塞 一齒 二十錢 ニム 二十錢 セメント 三十五錢 アマルガム 三十五錢 抜 齒 一齒 三十錢 消費手術(後處置料) 一回 十五錢 義 齒 一齒 五十錢 一齒増ス毎二十五錢	一、委託診療 往診料 一里ニ付 五十錢 一里ヲ増ス毎二十四錢	一、委託診療 初診料 無料 往診料 無料 但シ往復一里ノ場合ハ一里又ハ其ノ端數ヲ加フル毎二十錢 藥治料 一人一日 十錢 處置料 一人一回 十五錢以内 手術料 一人一回 一圓以内 注射料 皮下並筋肉 二十錢 粉 脈 五十錢 但シ特別ノ藥品ハ實費 文書料 無料 但シ死亡診斷書、死體檢案書、死産證明書、死胎檢案書ノ用紙ハ實費トス	一、委託診療 診察料 無料 但車馬賃ヲ要スルトキハ半里毎三二十錢以内 藥治料 内服一劑一日十錢、二劑ヲ與フルモ五錢ヲ超ユルヲ得ズ、頓服五錢 外用藥 一劑 五錢 注射料(藥液ノ價ヲ含ム) 皮下又ハ筋肉注射十五錢乃至三十錢 ツンゲル、生理的食鹽水注射一圓 粉脈注射 五十錢 其ノ他特別ノモノハ實費 處置料 一回 十錢以下 但シ材料ヲ要スルモノハ五十錢以内 手術料 一圓以下 特別ノモノハ此ノ限リニアラズ 入院料 一日 一圓(藥價、食費) 文書料 無料 出張診療所ニ對スル診療手當ハ一回七圓

<p>道府縣 要救療者ノ範圍</p>	<p>道府縣 要救療者ノ範圍</p>	<p>道府縣 要救療者ノ範圍</p>
<p>高知 (統)</p> <p>縣内居住者ニシテ生活困難ノ爲醫療ヲ受クルコト能ハザル者ハ豫算ノ範圍内ニ於テ診療ス</p>	<p>大分</p> <p>左ニ掲グルモノ疾病傷疾ニ罹リ診療ノ資ナク且他ニ公私療養ノ途ナキ場合一、市町村税、特別税戸數割ヲ納付スル資力ナキ者及其ノ家族 二、市町村税、特別税戸數割納付額ガ當該市町村ノ一戸平均額ノ三分ノ一ヲ超エザル者及其ノ家族 三、一人年所得金九十四未滿一世帯年三百圓未滿ノ者及其ノ家族 四、前各號ノ外市長村長警察官吏又ハ方面委員ニ於テ其ノ必要アリト認めタル者及其ノ家族</p>	<p>一、委託診療 初診料 無料 往診料 二十五錢 并道一里ヲ超ユル場合ハ一里又ハ其ノ端數ヲ加フル毎二十五錢増、夜間往診(自午後十時)五割増 藥治料 一劑一日分 七錢 内服藥 一劑一日分 七錢 但ニ劑併用スルトキハ十二錢 服藥 一回分 四錢 外用藥 一劑 七錢 文書料 無料 處方箋料 七錢 檢査並注射料 一回 五十錢以内 處置料 一回 二十錢 手術料 一回 一圓以内 入院料 一回 八十錢 内課收容ノ救護費一日四十錢 (食料ヲ給與セザルトキハ其ノ半額) 醫療費 四十錢</p>
<p>福岡</p> <p>縣内居住者ニシテ生活困難ノ爲醫療ヲ受クルコト能ハザル者ハ豫算ノ範圍内ニ於テ診療ス</p>	<p>佐賀</p> <p>傷疾疾病ニ罹リ自ラ治療ヲ受クルノ資力ナク且他ニ之ヲ求ムルコトヲ得ザル者ニシテ左ノ各號ノ一</p>	<p>一、委託診療 診察料 無料 藥價 一人一日 十錢以内 入院料 一人一日 八十錢以内</p>

<p>宮崎 (統)</p> <p>二、市町村税、特別税戸數割ヲ納付スル資力ナキ者及其ノ家族 二、同上納付額ガ當該市町村ノ一戸平均額ノ三分ノ一ヲ超エザル者及其ノ家族 三、其ノ他特別ノ事情アル者</p>	<p>宮崎 (統)</p> <p>方面委員等ニ於テ特ニ要醫療救護者ト認定シタル者</p>	<p>一、委託診療 診察料 無料 往診料 二軒迄 三十錢 以上二軒ヲ増ス毎二十錢 藥治料 一人一日 十二錢以内 處置料 一人一日 十錢以内 手術料 一人一回 一圓以内 入院料 一人一日 八十錢以内 (食費間代一切ヲ含ム) 注射料、檢査料 一人一日 五十錢以内 處方箋料 一件 十錢 外用藥 一劑 八錢 文書料 無料 但シ處置料、手術料、注射料、檢査料ノ高額ヲ要スル場合ハ實費相當額トス</p>
<p>熊本</p> <p>生活困難ナル者ニシテ醫療ノ資ニ乏シキ者タルコト認定ニ付テハ市町村長ハ方面委員、警察官吏等ノ意見ヲ徵スルコト、救護法、軍事救護法ノ救護者ハ本救護ヨリ除外スルコト</p>	<p>鹿兒島</p> <p>戸數割免除者及其ノ家族ヲ主トスルモ尙夫レ以上ノ生活階級者ニシテ救護ヲ必要ト認ムル場合ニ於テハ事情ニヨリ救護セシトス 認定ハ町村ニ於テ戸數割免除者ヲ調査シ之ヲ基本トシテ町村ノ總戸數ニ三分チ乗シタル和數ノ救護券ヲ町村ニ配布シ町村チシテ要救療者ニ交付セシム</p>	<p>一、委託診療 藥治料 一人一日 十三錢以内 特ニ高價藥ヲ使用シタルトキハ實費 入院料 一人一日 七十錢以内 手術料 手術ニ要シタル治療、材料ノ實費 船車馬賃 實費 往診料ハ一回二圓トシ一里ヲ増ス毎二十五錢トス 但シ當該市町村内ノ往診料ハ之ヲ支給セズ</p>
<p>熊本</p> <p>救護法施行細則第七條ヲ準用スルコト第七條ノ規定按察 診察料 無料 文書料 無料 處方箋料 一回ニ付 十錢 藥治料 一人一日 十二錢 處置料 一回ニ付 二十錢 手術料 一回ニ付 二十五錢 但シ往復一里以上ノ地ニ往診スル場合ハ一里ニ付三十錢以内ノ往診料ヲ支出スルコトヲ得 前項各號ノ限度ニ依リ難キ場合ハ事情ヲ具シ知事ノ認可ヲ受ケベシ</p>	<p>沖繩</p> <p>本縣住民ニシテ疾病ニ罹リ又ハ傷疾ヲ受クルモ醫療ノ途ナキモノ</p>	<p>二、市町村税、特別税戸數割納付額ガ當該市町村ノ一戸平均額ノ三分ノ一ヲ超エザル者及其ノ家族 三、一人年所得金九十四未滿一世帯年三百圓未滿ノ者及其ノ家族 四、前各號ノ外市長村長警察官吏又ハ方面委員ニ於テ其ノ必要アリト認めタル者及其ノ家族</p>
<p>宮崎</p> <p>一、第一種、第二種カ一ノ階級ノ者 二、右ニ準スル申産以下ノモノニシテ市町村長</p>	<p>沖繩</p> <p>總テ救護法ニヨリ制限額ニ依ルモノトス</p>	<p>二九</p>

六、地方長官會議ニ於ケル大臣訓示

山本内務大臣ノ地方長官、警察部長ニ對スル醫療救護ニ關スル訓示ハ昭和七年度ニ於テハ無カリシヲ以テ昭和八年度ニ屬スル記事ナルモ便宜之ヲ記錄ス。

昭和八年四月十八日内務省ニ開催セル地方長官會議ニ於テ山本内務大臣ハ恩賜救護事業ニ付キ左ノ如ク訓示セリ。

醫療救護ノ普及充實ヲ圖ルコトハ現下ノ非常時ニ處シ、特ニ國民ノ保健上並ニ救護上最モ肝要ト考ヘマス、客年八月 長クモ救護ノ費トシテ御内帑金御下賜ノ御沙汰ヲ拜シ、聖恩ノ渥キニ感激致シマシタ次第デアリマス。政府ニ於テモ、救護ニ要スル經費ヲ支出シ御下賜金ト併セテ救護施設ノ完備ヲ期スベク努力致シマシタル所幸ニ諸君ノ盡力ニ依リ略所期ノ效果ヲ擧ゲツ、アルコトト信ズルノデアリマスガ本年度ノ事業實施ニ當リテハ過去ノ實績ヲ詳細ニ考察シテ施設ノ整備ヲ計リ非常時施設トシテノ機能ヲ十分ニ發揮セラル、様切望致シマス。

七、警察部長並學務部長會議ニ於ケル大臣指示

昭和八年五月三日警察部長會議及六月二日學務部長會議ニ於テ醫療救護ニ關スル件ヲ指示セラレタリ。兩會議ニ於ケル指示ノ内容ハ同一ニシテ左記ノ如シ。

醫療救護ニ關スル件

時局匡救施設ノ一トシテ目下實施中ノ醫療救護ハ恩賜救護事業ノ趣旨ニ鑑ミ各般ノ施設ニ關シ一層充實改善ヲ盡リ恩賜濟生會其ノ他醫療機關ノ活動ヲ促シ以テ現下ノ急務タル救護ノ實績ヲ擧グルニ遺憾ナキヲ期セラレタシ。

第十二 應府縣ニ於ケル醫療救護實施ノ概況

醫療救護實施ノ概況ヲ各應府縣別ニ左ニ列擧ス。

北海道

本道農村ハ過去二ケ年間ニ亘ル未會有ノ大凶作ニシテ又漁村ニ於テモ近年對支貿易ノ不振其ノ他經濟界ノ不況ニ依ル生産品價格ノ暴落セルニ加ヘテ數年來打續ク凶漁ノ爲農村ト同様困窮ノ状態ニアリテ本道農漁山村疲弊程度ハ他府縣ニ比シ一層深刻ナルモノアリタリ。

前述ノ凶作ニ際シテハ二ケ年ニ亘リ 長多クモ畏キ邊ニ於カセラレテハ多額ノ御内帑金ヲ御下賜アラセラルト同時ニ侍從御差遣ノ恩命ニ浴シタルヲ以テ官民一致 聖旨ニ應ヘ奉ルベク銳意之ガ救濟並ニ更生ヲ畫セリ、即チ右救濟策ノ一トシテ醫療救護ニ關シテハ恩賜濟生會ノ事業ニ依ルコトトシ同會本道救護基金中ヨリ貳萬圓及北海道水害凶作救濟會ヨリ貳萬圓合計四萬圓ヲ支出シ之ヲ從來同會ヨリ配付ノ經費中ニ加ヘ昭和六年度及七年度ニ於テ救護ヲ實施シタルモ何分要救護者五萬人ノ多數ニシテ前記經費ニテハ其ノ五分ノ一ヲモ救護シ得ザル状態ニアリテ甚ダ遺憾トスル處ナリシモ客年十月以來本醫療救護ノ開始セララルヤ前記支障ヲ一掃シ萬全ナル救護ヲ實施スルヲ得タリ、之レニ 聖旨ノ然ラシムルモノニシテ被救護ハ勿論道民擧ゲテ聖恩ノ宏大ナルニ恐懼感激致シ居ル次第ナリ。

本道ニ於テハ本救護實施ニ當リ朝野協力 聖旨ノ普及徹底ヲ計ルハ最モ緊要ナリト認メ醫師會、齒科醫師會、藥劑師會及各地産婆會ト之ガ實施方法ヲ協議セル處前記諸團體ハ實費以下低廉ナル費額ヲ以テ其ノ所屬會員全部ヲシテ本事業ニ從事セシムルコトニ協定スルヲ得タリ、又一面本事業施行ノ町村部落毎ニ恩賜金救護委員ヲ數名設置シ町村長警察官吏及方面委員ト協力シ救護ニ關スル一切ノ斡旋ニ從事セシメタル處其ノ成績極メテ優良ニシテ目下其ノ數千餘名ナリ特ニ恩賜金救護委員制度ナルモノヲ設ケタルハ方面委員ノ設置ノ未ダ全道ニ普カラザルヲ以テナリ。

診療方法ハ内務省ニ於テ指示セラレタル委託診療、出張診療及巡回診療ノ外常備藥配給、助産材料ノ交付ヲ實施セリ。

一、常備藥配給

常時交通不便又ハ冬期間積雪ノ爲交通杜絶シ全ク醫療ヲ受クルノ途ナキ部落百五十二ヶ所ニ對シ本年二月下旬ヨリ下熱錠、健胃錠其ノ他數種ノ錠劑ニ詳細ナル用法ヲ附シテ配給シ恩賜金救護委員ヲシテ之ヲ患者ニ分與セシメタル處意想外ノ好成績